



2019年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月8日

上場会社名 SHO-BI株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7819 URL https://www.sho-bi.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)寺田 正秀
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)鎌形 敬史 (TEL)03-3472-7890
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第1四半期の連結業績(2018年10月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第1四半期	4,734	1.8	96	△14.6	110	△4.6	58	△5.8
2018年9月期第1四半期	4,649	4.6	113	△54.0	116	△61.8	62	△64.7

(注) 包括利益 2019年9月期第1四半期 △39百万円 (—%) 2018年9月期第1四半期 72百万円 (△79.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第1四半期	4.39	—
2018年9月期第1四半期	4.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第1四半期	13,513	5,152	38.1
2018年9月期	12,797	5,258	41.1

(参考) 自己資本 2019年9月期第1四半期 5,152百万円 2018年9月期 5,258百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2019年9月期	—	—	—	—	—
2019年9月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日~2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	1.8	250	10.4	240	6.4	120	25.4	8.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年9月期1Q	13,410,000株	2018年9月期	13,410,000株
2019年9月期1Q	127株	2018年9月期	127株
2019年9月期1Q	13,409,873株	2018年9月期1Q	13,409,874株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年9月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2018年10月1日~2018年12月31日)におけるわが国経済は、国内景気については企業収益、雇用環境等の改善が進む等回復基調が持続している一方、海外では米中貿易摩擦問題や英国のEU離脱問題等、政治・経済の不確実性が高まり、年末にかけてグローバルベースで株価が急落する等不安定な状況にありました。こうした中、個人消費については、消費者の消費行動の変化でニーズが多様化していることに加えて天候不順等も重なり、力強さに欠ける推移となりました。

当連結会計年度は「新しい事業、新しい販路、新しい調達拠点、新しい商品に立ち向かう」を行動指針とし、①コスメコンタクト®(注)事業、②OEM事業、③ZACCA(雑貨)事業を3本柱として注力して参ります。海外市場については、特にコスメコンタクト®を中心に売上拡大を進めております。また、創立70周年を機に次の10年、さらに先を見据えた取組みにも着手していく所存です。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、百円均一ショップ、バラエティストア向け売上が好調に推移したこと等により4,734,707千円(対前年同期比1.8%増)となりました。コスト面では、調達構造の見直し、在庫管理の強化を引き続き行っているものの、百円均一ショップ向けなどOEM商品の伸び率が高かったこと等により粗利率が低下し、差引売上総利益は対前年同期比0.9%増の1,368,071千円にとどまりました。加えて、広告宣伝費、研究開発費、物流費が増えたことで販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は96,813千円(対前年同期比14.6%減)となりました。営業外損益では為替差益が増加したことにより、経常利益は110,753千円(対前年同期比4.6%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は58,917千円(対前年同期比5.8%減)となりました。

(注) コスメコンタクト®は、瞳を大きく魅力的に見せる、マスカラやアイライナーのようなメイク発想のコンタクトレンズです。

当社グループの事業セグメントは、単一の事業セグメントであります。取扱商品を区分した売上高の概況は次のとおりであります。

① 化粧雑貨

当分類には、メイク関連用品、ヘアケア関連用品、トラベル用品、バス・エステ・健康関連グッズ等の売が含まれます。当第1四半期連結累計期間の売上高は、OEM向け商品等が好調に推移したことにより、2,638,119千円(対前年同期比4.1%増)となりました。

② コンタクトレンズ関連

当分類には、コンタクトレンズ、コンタクトレンズケア用品の売が含まれます。当第1四半期連結累計期間の売上高は、コンタクトレンズ商品のブランド数及び得意先の選択と集中を行っていること等により、876,826千円(対前年同期比13.1%減)となりました。

③ 服飾雑貨

当分類には、バッグ、ポーチ・ケース、サイフ類、その他服飾小物の売が含まれます。当第1四半期連結累計期間の売上高は、ポーチ・ケース等は不振だったものの、バッグや携帯小物の売が増加したことで、674,910千円(対前年同期比1.6%増)となりました。

④ その他

当分類には、生活雑貨、文具、行楽用品、ギフト商品等の売が含まれます。当第1四半期連結累計期間の売上高は、文具、行楽用品、ギフト商品の売が好調に推移したことで、544,850千円(対前年同期比23.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(資産、負債及び純資産)

①資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて715,984千円増加し、13,513,001千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて800,396千円増加し、10,724,473千円となりました。

これは主に、現金及び預金が102,471千円、受取手形及び売掛金が600,785千円、商品が189,166千円増加したことに対し、為替予約が95,299千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて84,411千円減少し、2,788,527千円となりました。

これは主に、投資その他の資産の投資有価証券が55,126千円、その他が22,244千円減少したこと等によるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて822,507千円増加し、8,360,743千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて503,250千円増加し、4,999,110千円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金が400,463千円、その他が148,155千円増加したことに対し、賞与引当金が83,690千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて319,256千円増加し、3,361,632千円となりました。

これは主に、長期借入金が324,300千円増加したこと等によるものであります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて106,522千円減少し、5,152,257千円となりました。

これは主に、その他有価証券評価差額金が34,833千円、繰延ヘッジ損益が64,671千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間の業績につきましては、概ね計画どおり推移しており、2018年11月12日に公表いたしました2019年9月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,943,273	5,045,744
受取手形及び売掛金	3,060,570	3,661,356
商品	1,408,173	1,597,339
貯蔵品	99,945	97,229
為替予約	265,187	169,888
その他	154,026	153,214
貸倒引当金	△7,100	△300
流動資産合計	9,924,077	10,724,473
固定資産		
有形固定資産	1,780,047	1,770,562
無形固定資産	67,146	68,744
投資その他の資産		
投資有価証券	384,088	328,961
その他	698,046	675,801
貸倒引当金	△56,389	△55,542
投資その他の資産合計	1,025,745	949,220
固定資産合計	2,872,938	2,788,527
資産合計	12,797,016	13,513,001
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,918,662	2,319,126
1年内返済予定の長期借入金	1,825,200	1,849,550
未払法人税等	21,563	46,634
賞与引当金	152,000	68,310
返品調整引当金	41,900	30,800
その他	536,534	684,690
流動負債合計	4,495,860	4,999,110
固定負債		
長期借入金	2,846,104	3,170,404
役員退職慰労引当金	87,849	90,774
資産除去債務	31,901	31,977
その他	76,520	68,476
固定負債合計	3,042,375	3,361,632
負債合計	7,538,236	8,360,743

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	264,313
利益剰余金	4,128,233	4,120,101
自己株式	△71	△71
株主資本合計	4,937,974	4,929,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,956	64,123
繰延ヘッジ損益	177,459	112,788
為替換算調整勘定	44,390	45,503
その他の包括利益累計額合計	320,805	222,414
純資産合計	5,258,780	5,152,257
負債純資産合計	12,797,016	13,513,001

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)
売上高	4,649,022	4,734,707
売上原価	3,316,036	3,377,736
売上総利益	1,332,985	1,356,971
返品調整引当金戻入額	51,700	41,900
返品調整引当金繰入額	28,500	30,800
差引売上総利益	1,356,185	1,368,071
販売費及び一般管理費	1,242,868	1,271,258
営業利益	113,317	96,813
営業外収益		
受取利息	246	535
受取配当金	2,346	2,618
受取手数料	1,906	3,963
為替差益	4,512	11,423
その他	2,472	1,788
営業外収益合計	11,484	20,329
営業外費用		
支払利息	8,216	6,143
その他	542	245
営業外費用合計	8,759	6,389
経常利益	116,042	110,753
特別利益		
投資有価証券売却益	-	14,092
受取損害賠償金	10,369	-
特別利益合計	10,369	14,092
税金等調整前四半期純利益	126,412	124,845
法人税、住民税及び事業税	14,298	40,093
法人税等調整額	49,535	25,834
法人税等合計	63,833	65,927
四半期純利益	62,578	58,917
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	62,578	58,917

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2017年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	62,578	58,917
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,406	△34,833
繰延ヘッジ損益	△14,913	△64,671
為替換算調整勘定	6,953	1,112
その他の包括利益合計	9,446	△98,391
四半期包括利益	72,024	△39,473
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,024	△39,473
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。